

2018年4月23日

Foreign Press Center Japan 外国メディア向けブリーフィング

朝鮮半島情勢と日本

政策研究大学院大学 (GRIPS)

道下 徳成 (みちした なるしげ)

<https://twitter.com/NaruMichishita>

<https://grips.academia.edu/NarushigeMichishita>

1 米朝対話への見通し—良いシナリオと悪いシナリオ

(1) 良いシナリオ

- * 米国と北朝鮮が「非核化と米朝関係改善」に向けての現実的な合意を行う。
- 米国は北朝鮮への圧力を維持しつつ、段階的な非核化へのプロセスに同意
北朝鮮は当面の制裁を受け入れつつ、徐々に関係改善、制裁解除、経済・技術協力を進めていくことに同意
- トランプと金正恩の政治的な利害が一致
トランプ：「北朝鮮が圧力に屈服してきた」「過去の大統領にはできなかった大胆な行動によって、北朝鮮との間でディールを行った」というストーリー
金正恩：「世界最強国の大統領が戦略国家となった北朝鮮を無視することができなくなり、対話を求めてきた」「国防のための抑止力は完成したので、これからは経済建設にフォーカスしたい。そのために米国と協力する」とのストーリー
- 二人が「米朝の協力関係の構築と非核化で合意した」と発表することは容易
→合意が実現するまでには10年以上かかるかも。しかし、双方は、その現実を理解しつつも、「細部は実務担当者に任せる」として合意の重要性を強調
- トランプにとって、北朝鮮問題は注目を浴び続けるためのショーのエピソードの1つに過ぎず。成功したら「自分の成果」、失敗したら「韓国と中国が、北朝鮮は非核化に合意したというので対話を進めたが、北朝鮮がまたウソをついた。今後は軍事攻撃も含め対応を検討する」と主張すればよい。
金正恩は困ったら、「米国が敵視政策を捨てず、米韓同盟、在韓米軍を維持し、平和協定を結ぼうとしなかったため、残念ながら非核化できなかった」と主張すればよい

(2) 悪いシナリオ

① 危機再燃シナリオ

- * 米国が北朝鮮に受け入れ困難な要求を行い、北朝鮮が拒否する。あるいは、北朝鮮はとりあえず要求を受け入れるが、実施段階で遅滞行動 (delaying tactics) をとる。これに米国が態度を硬化させ、危機が高まる。
- 過去の北朝鮮をめぐる軍事的危機は、対話「後」に発生

例：1994年5月の危機。2006年7～10月の危機

- ・手詰まりを打開するために北朝鮮が再び瀬戸際外交を行うかも。ハワイやグアムのある太平洋での大気圏内核実験？
 - ・今回は米国が北朝鮮に対して瀬戸際外交を行うことも
マイク・ポンペイオとジョン・ボルトンは対北強硬派
 - ・人気のない大統領が支持率を上げることのできる特効薬は？
- 中間選挙までに基本合意を要求。北朝鮮が応じれば成果。応じなければ危機を高めてトランプへの求心力を回復
- 大統領選のある2020年を期限に非核化を要求。北朝鮮が応じれば成果。応じなければ危機を高めてトランプへの求心力を回復

②「悪い平和」シナリオ

- *米国が韓国への防衛コミットメントを減少させるかわりに、北朝鮮が米国に脅威となるような軍事能力を強化しないことで合意。韓国の現政権（進歩派）もこれに反対しない。進歩派は、韓国の軍部や米韓同盟を弱体化させることで、韓国国内の保守勢力の弱体化を図る（韓国の安全保障は多少犠牲になるが、国内政治的にはプラスと判断）
 - ・米朝あるいは米朝韓で朝鮮戦争終結宣言→中国が提案し、国連安保理で朝鮮戦争終結宣言→1950年の国連決議の無効化→国連軍司令部解体、国連旗使用の停止、日本と国連軍の地位協定無効化、「北方限界線（NLL）」の無効化（韓国の防衛が困難に）→北朝鮮は UNCLOS に基づく領海線を主張し、北朝鮮の船舶が NLL を越えて航行の自由を行使→停戦協定の無効化、暫定協定あるいは平和協定締結の協議（三者あるいは四者会合）
 - ・長期的な影響は？
- 米韓同盟弱体化、北朝鮮の対韓挑発行動の活発化、朝鮮半島情勢の流動化、韓国の中立化？

2 日本にとっての課題

- *日本の目標＝悪いシナリオに行くことを防止しつつ、良いシナリオが実現し、日本にとっての懸案事項が解決される状況を作る。
- ・個別の課題＝拉致問題、準中距離ミサイル
- ・大きい課題＝核問題解決のプロセスのなかで、どのように日朝交渉を進めるか。その時に、どのような手段を用いるか。

(以上)